

千葉県スキー連盟活動方針

今年、千葉県スキー連盟（以下：県連）は設立58年を迎えます。

現在、わが国のスキー人口（スノーボード含む）は年々減少し600～650万人と言われていています。

令和3年4月現在の県連の登録状況は会員1498人、指導者737人、86クラブ（連盟）、公認スキー教室6、級別テスト8ですが、ここ数年は全てにおいて減少を続けおり本連盟も例外ではなくその影響を受けています。

ご承知のとおり公益財団法人 全日本スキー連盟（以下：SAJ）及び県連では「スキーの普及・振興」（以下：普及振興）を大きな目的に掲げています。この目的を達成するためには、ウインタースポーツの代表的なスキーの楽しさを享受し、私たちが身につけているスキーの理論や技術・能力を天からの贈り物として余すことなく伝承していくことが必要です。それが我々の使命だと思っています。

そこで県連としては、総務・競技・教育の各専門部で例年実施されてきたすべての事業について『普及振興』と会員ファーストを念頭に事業を立案し予算を組み立て、常に社会情勢に沿った見直しを図ることで会員のニーズに寄り添った事業の運営を行います。また、会長、副会長をはじめとする県連役員も積極的に県連事業やクラブ行事に参加してスキー活動の活性化に取り組んでいきます。

各クラブにおけるクラブ行事やスキー教室等は、その普及振興において最も有効な手段の一つですので継続して開催されることをお願いするとともに、各クラブにおいても SAJ や県連の事業等に積極的に参加していただくことを強く希望します。特に子どもたちを対象としたスキー教室や競技会等の開催は、未来のスキーヤーを育む上で非常に貴重な事業ですので県連としても支援していきます。

個人で家族や友人と連れ立ってスキーを楽しんでいる人や競技会等に参加している人、グループ等で国内外のスキーツアーをエンジョイしている人もたくさんいます。さらには近年、スキー学校の指導者として何日間も中学生や高校生を指導している人もおりその需要も年々増えています。

これら全ての人々が普及振興に深く携わっていますので、今後は一般スキーヤーへの関わり方も模索して、さらにスキーの輪が広がるように努めます。

県連として会員だけでなく広く県民にも活動方針を鮮明にして SAJ、県連、クラブそして会員個人に至るまで連帯感を増してスキー人口の拡大とスキー活動の活性化を図り『普及振興』に努めていくことを改めてここに決意し、皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

この活動方針は県連のホームページにも掲載しますが、貴クラブ会員にもお伝えいただくことで、全ての県連会員が共有できることを望んでいます。

千葉県スキー連盟
会長 林 茂美